



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

# 5月園だより

令和3年4月28日

April, 28, 2021

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



## 実践から発信へ

園長 河合 晴美

新緑が美しい季節になりました。子どもたちは、八重桜の花びらを拾い集める中で、さらに様々な園庭の自然を見付け、楽しんできたところです。入園、進級して1か月近くが経ちました。新しい担任や主任との出会いの中で、子どもたちなりに、日々の生活の中で新しい環境に馴染んでいくために、各学年なりに考え工夫していく様子が見られます。

さて、今年度の南山幼稚園の園内研究の主題は、「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成 ～3年間の育ちを見通した指導の工夫～」という進め方に決まりました。3年間、3学年の教育活動の中で、教職員一人ひとりが「今経験している内容が、今後、進級した後の学年で活かされる内容であるか」逆に「今経験している内容が、前年度経験した内容を踏まえて行われているか」今一度、南山幼稚園の教育活動として共通理解していくために、実践、考察、検証をしていき、再度位置付けていきます。5歳児の生活は、南山小学校との連携に基づいて、小学校生活に活かされるような内容であるかの検討を含めています。

このような取組の中で、3歳児は、園生活の始まりとして、生活づくりや遊び方について考えています。一つ一つ丁寧にを行うことで身に付けることが今後につながる力となります。4歳児は、動線を考えた中で生活することにより、自分から気が付き行動することで、自分の動きとして身に付けられるにしています。5歳児は、年長組になった喜びから新しいことに対して、考え行動できるようにしています。友達存在にも目を向け、思いや考えを出し合うこと、出し合った結果、新しい道が開けることを経験しています。

各学年で取り組んでいることは、教師のきめ細やかな援助により成り立つことを考え、園内研究会での協議に力を尽くしてまいります。そして、今後は、様々な工夫をしながら保護者の皆さまに子どもたちの成長を伝えていきます。



<5歳児がつくったこいのぼりの下で遊ぶ4,5歳児>



<保育室で遊ぶ3歳児>

